

《山行報告》

小谷山（494.6m）・虎御前山（224m）

日 時 : 2025年9月28日(日) 晴れ
参加者 : CLI井、SLK原(写真)、K藤(記録)、K林(救急)
F川、S田、H浦、O村、S水、G弥 以上10名
行 程 : JR北陸線河毛駅 8:50 集合⇒9:00 出発⇒9:40 小谷山登山口
～間柄峠(望笠峠)～小谷城址～11:15 小谷山(昼食) 12:00
～12:25 福寿丸跡～12:40 山崎丸跡～13:10 虎御前山登山口
～12:30 虎御前山(木下秀吉陣跡)～13:50 織田信長陣跡～
14:10 丹羽長秀陣跡～14:30 登山口～14:45 JR虎姫駅(解散)

今回の小谷山・虎御前山の山行は2年越しの計画、「三度目の正直」でやっと実現した価値のある山行でした。もう実現は無理と半ば諦めていたのですが、辛抱強く待って良かったです。天気は午後から下り坂の予報で少し心配しましたが、雨に降られることもなく、全員無事に下山することができました。リーダーのI井さんには本当に感謝です。大変お世話になりました。

JR北陸線の河毛駅に予定の時刻に全員集合しました。当日朝に1人欠席者が出て、10名の参加になりました。出発の9時頃には一面青空が広がり、とても爽やかな天気でした。小谷山登山口までの道は、のどかな田園風景が広がります。稲穂をいっぱい付けた田んぼと、白いそば畑に挟まれた道を歩きます。所々に彼岸花も咲いていて素晴らしい風景が広がっています。登山口付近では、近々「戦国まつり」が催される模様で、地元の人はその準備に忙しそうな様





子です。

その前を横切って、いよいよ山登りの開始です。いきなり急登であっという間に汗が始めました。でも時より吹く涼風がとても心地いいです。しばらくすると、背後には田園風景が広がり、その先には琵琶湖が見え、疲れもいっぺんに吹っ飛びました。

途中に「小谷城址」の大きな地図が建っていて、その全容を知ることができました。いくつもの城跡を乗り越えていかなければなり

ません。所々に「〇〇丸」と書かれた看板があり、その説明書きに目を通しました。歴史や城に興味のある人にとってはたまらない山行になったことでしょう。

私はNHK大河ドラマで「江〜姫たちの戦国〜」で小谷城の存在を知って、その後「城博士・千田嘉博」の城歩きで更に興味を持ち、一度は登ってみたい山になりました。実際に登ってみて、こんな所に、こんな立派な山城があったこと、またこの急な山道を戦国武将たちが駆け上り、戦を繰り返し



ていたことにも驚きました。しかもたった500年ほど前の出来事で、何かまだ臭いが残っていそうな気になりました。

其々が思い思いに歴史を振り返りながら歩き、予定時刻より少し早めに小谷山山頂に着きました。ゆっくり昼食休憩を取って、12時に下山を開始しました。午後からはもう一つの目的地、虎御前山に向かいました。この山は織田信長が小谷山の浅井長政を攻めた時の前線基地として陣地を築いた場所で、小谷山の様子が一目瞭然見通せる絶好の場所だったことが分かります。この山も登り口は急登で、簡単に敵が攻め



て来ることは難しそうです。

途中の案内看板には、聞いた事のある戦国武将の名前が次々に出てきます。

「織田信長」をはじめ「木下秀吉」「柴田勝家」「丹羽長秀」など錚々たるメンバーの陣地が築かれていたようです。

2時半に下山を終え、そこからJR虎姫駅まで歩きました。午後からの天気を心配して、早目の行程になりましたが、

雨に降られることもなく全員無事、2時45分に虎姫駅に到着。全行程を終了することになりました。帰りはJR湖西線周りと、琵琶湖線周りに別れて帰りました。

今回の山行は、ただ山に登るだけではなく、其々が思い思いの考えを巡らしながら、歴史を振り返りつつ歩いた感慨深い一日になりました。

(記録 K藤)

《一口感想》

”信長、3人姉妹の時代に戻され、最近読んだ大文字版の‘女のたたかい’の小説が思い出された。

コースはところどころに景色を見渡せるところが配置され、素晴らしいコースだった。とはいえ、帰宅後はバタンキューの限界だった。”

(F川)

駅を降りて歩道歩きは暑かったけれど、流石に登山道に入ると風が違う。先週と五度ほど気温が下がって、汗まみれでは無い。

小谷山、虎御前山は、歴史に疎い私でも知っている武将の名前がいっぱい。もし自分が草鞋で山を駆け登って石礫や矢を受けるとするとゾッとする。うん、私は戦国の世は嫌い。

(H浦)

